

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0177100286		
法人名	特定非営利活動法人 NPO 社会福祉振興会		
事業所名	グループホームななかまど歌志内館 1号館		
所在地	北海道歌志内市字中村34-1		
自己評価作成日	平成29年10月16日	評価結果市町村受理日	平成30年1月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022&kani=true&JigvosyoCd=0177100286-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	札幌市北区麻生町5丁目2-35コーポラスひかり106号
訪問調査日	平成29年12月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

それぞれのご入居者様の希望を随時確認し、お気持ちを尊重できるように、また心身の状態に合わせた支援に努めている。

地域の関連機関との協力で、習慣の継続にも力を入れています。お祭りや町内会行事への参加、近隣美容室からの訪問、温泉や道の駅の活用なども継続的にを行い、馴染みの関係を継続できるように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、山々に囲まれ、近くには川には野鳥が飛来するなど自然を満喫できる住宅地に立地し、近くには道の駅、温泉施設、協力医療機関などがあり生活環境に恵まれている。木造2階建ての商業施設を改修した1階部分に2ユニットのホームがあり、居間、食堂は一体的で、加湿器を設置して温・湿度調整に気をつけている。利用者の折り紙などの作品、松の葉、クリスマス用品などを飾り家庭的な雰囲気、長年利用者と一緒に生活している愛犬が利用者の心を癒している。職員は明るく穏やかで、利用者の残存能力を持続するためテレビ体操をしたり、利用者は書道、ぬり絵、テルビを見るなど思い思いに過ごしている。地域との交流も積極的で、地域の一人として職員は河川敷の清掃、神社の除雪などを行い、利用者は、地域の祭り、盆踊り、敬老会などに参加して地域住民と交流している。又、幼稚園児が来訪して遊戯を披露したり、看護学生の実習受け入れなど外部との交流に努めている。町内会及び自治会と災害発生時入所施設外避難移動支援、入所行方不明者捜索活動支援の覚書を交わして、地域との協力を得ながら災害時などの利用者の安全確保に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を基に毎日目標をたて、評価しながら共有していく。結果は、日誌へ記入している。	法人共通の理念、運営方針、七つの心、仕事の基本 10ヵ条を明示し、月間目標を立てて、毎日唱和するなど職員で共有し、常に理念に立ち返ってケアの実践に繋げている。	法人共通の理念そのままだけでなく、地域密着型サービスの意義・役割が理解され、地域に適合した事業所独自の理念を職員皆で考え、作成されることを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の活動(敬老会・新年会・お祭など)に参加し、地域の方との交流に努めている。	地域の一員として町内会に加入し、敬老会、お祭り、盆踊りなどの地域行事に参加して交流している。幼稚園児の来訪、看護学生の実習受け入れなどの交流にも努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	看護学生等の実習受入により、認知症の方への対応など伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な開催により、地域の方からの意見を聞き、また活動を報告することにより、サービスの質の向上に活かしている。	2ヶ月に1回開催し、町内会長、民生委員、老人クラブ、行政、社会福祉協議会、地域包括支援センター職員などが参加して、運営状況、行事、事故・ヒヤリハットなどを報告して、意見や助言を得てサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議への参加や、生活保護の方の支援など、市町村と情報共有し、関係構築している。	生活保護者の支援などで相談、指導、助言を得ている。また、運営推進会議出席時に指導、助言、情報を得ている。市認知症初期集中支援チーム検討委員会の委員長として協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の内部研修を行い、職員の意識を高め、再認識できる機会になるように取り組んでいる。	事例を参考に内部研修を行って、身体拘束について理解し、身体拘束をしないケアに努めている。利用者の身体を保護するため、家族の同意を得て、一部の利用者に夜間のみセンサーを利用している。玄関は防犯のため夜間のみ施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する内部研修の実施。また、随時身体 の状況を確認することで、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見人制度の理解に努め、関係機関に連絡できる体制をとっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、サービスの内容や日常生活に関わることなどを具体的に説明し、理解を図れるよう、対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や面会簿で意見を伺えるよう準備し、またご家族に直接お話を伺えるよう、積極的にお声掛けしている。	利用者の生活歴を把握し、日常の会話などから意見、要望の把握に努め、介護記録に記載して職員で共有し、家族とは、利用者の様子をわかりやすく手紙に書いて送付し、来訪時に会話の時間を作り、意見、要望を聞いて運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的な面談やNPO総会、随時職員からの意見をくみ取れるようにしている。	管理者は、職員が意見を言いやすい雰囲気を作り、朝礼時やケア会議、人事考課時の面談などで職員の意見を聞いて話し合い、検討して運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	面談の際に、目標を設定することにより、向上心を持ち資格取得できるようなど支援している。労働時間にも考慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修や、OJT、外部研修への参加促進を行い、サービスの質の向上および、スキルアップに努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括ケア会議の参加を主に、地域の同業者との情報共有や、関係作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談の際や、段階的な面談を通し、ご本人からの聞き取り、またお話しできない方にはご家族から意見を伺い、関係を少しずつ構築できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設見学の際や、面談・契約の際など、お困りのことや現状など、聞き取りを行い、計画書へ反映できるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人からの意見をお伺いし、地域との連携を含め支援内容を検討し、計画書へ反映している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の望む支援、できることなどコミュニケーションを図りながら、聞き取りを行っている。楽しみながら一緒に取り組めることを考慮しながら支援している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際や電話などで、ご要望を伺い協力している。ご本人の意向も含め、協力関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事への参加や、友人の面会の際への対応、地域の美容室の利用などにより、関係が途切れないように努めている。	利用者の生活歴、日々の会話、家族からの情報などから馴染みの場所などを把握し、買物、理美容、家族と一緒に外食に行くなど馴染みの関係が途切れないよう支援している。知人・友人が訪ねて来た時は、居室でゆっくり話できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入りながら、一緒にアクティビティや家事など関わりをもって過ごしていただけるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後にも、関係を継続できるように、連絡体制を確認など行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活のなかでのご本人の意見や、気持ちが反映できるように介護記録などに残している。	日常の会話、入浴時などリラックスした時の会話、家族の情報から思いや意向の把握に努め記録し職員で共有して、希望や意向に添えるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人・ご家族から聞き取りを行い、基本情報に集約し、サービスの中に生活歴を反映できるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員間で体調面も含め、申し送りや日誌で情報共有しながら現状を把握している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要の関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族からの意見を随時聞き取り、相談を行い、ケア会議などで意見を集約することによって、計画書へ反映している。	常に利用者、家族の意向を聞き取り、意向を反映させ、ケア会議で意見交換を行い、ケアマネが6ヶ月毎に現状に即した介護計画を作成して家族の確認印を得ている。状況に変化があればその都度見直すこととしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や日誌を活用し、情報共有し、ケア会議で方針を決定し支援している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	研修や地域包括ケア会議への参加によって、常に新しい情報をとり入れ、幅の広いサービスが提供できるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事への参加や、近隣の道の駅の活用などにより楽しみを持って生活できるように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の、ご希望を反映し、医療機関へ受診できるようにしている。その際には、情報の不足が無いようにしている。	利用者、家族の希望に添ったかかりつけ医に受診できるよう支援している。家族が付き添い、依頼があれば職員が付き添って担当医に情報を提供している。受診結果については、家族に電話で報告している。週1回、訪問看護師が利用者の健康管理を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に来訪している、訪問看護、および往診や受診の際に、日常の様子を伝えている。また、必要に応じて電話での相談を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、情報提供書を作成する。また、ソーシャルワーカーなどと連携を図れるよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に看取りについてのアンケートを使用し、ご本人・ご家族の希望を確認している。また、随時状況に応じて再確認し、職員や地域と連携できる様努めている。	入居時に「終末期における看取り介護の方針・指針」に基づき、本人、家族に説明し、急変時対応希望書で確認を得ている。重度化が認められた段階で主治医、家族と相談し、入院など希望に添えるよう支援することとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習に参加し、新しい情報を確認しながら、救急時には対応できる様に努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施し、避難方法を確認している。地域の方にも、非常災害装置から連絡できる様に設定し、協力対応を築いている。	消防署の協力を得て、年2回避難訓練(夜間想定)を実施している。一時避難場所を指定し、町内会及び自治会と災害発生時入所者施設外移動支援の覚書を交わし地域との協力を得ている。食糧、水、暖房、着替えなど備蓄している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人の意向を都度確認し、希望を尊重できるように支援している。また周囲へも配慮しながら、プライバシー保護に注意している。	言葉遣いは丁寧に、叱らない・注意しないなど仕事の基本10か条を定め、トイレなどの声かけは耳元でなど、一人ひとりの気持ちを大切に、尊厳や誇りを損ねないケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定につながる様な声掛けや場面をつくり、気持ちに沿った支援を心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の意向を確認し、希望に沿った支援を提供できる様努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的な訪問美容や、地域の美容室・床屋との連携でおしゃれができるよう支援している。また、日常的に身だしなみが整うような支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の食事の中から、好みや食べたいものを聞き取り、一緒に食事を作るなどの工夫や、片付けなどにも参加できる様支援している。外食や食べたいものの購入も支援している。	献立は利用者の希望を取り入れ、利用者は能力に応じ職員と一緒に調理、片付け、いなりづしなどを作っている。季節のメニュー（秋にはさんま等）を取り入れたり、行事食は利用者の希望を聞いて作り楽しい食事となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を都度把握している。また、ご本人の状態や好みを把握し、食事の形態を個別に対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者様の状態に応じ、口腔内に食物残渣がないかなどの確認を行っている。歯科健診でも口腔内の状況を確認してもらえる様対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	各ご入居者様の状態を把握し、トイレへ行けるよう支援している。	排泄記録で個々の排泄パターンを把握し、表情、態度などから適時にさりげなく誘導して、排泄の自立に繋げている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品の提供や、食事の内容の工夫を行い、状態によっては主治医と相談し、服薬の調整を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ご本人の希望を確認し、その日時に入浴できる様支援している。また、温泉へ入りたい方などには個別に対応している。	利用者の体調や希望に合わせて週2回を基本に入浴できるよう支援している。入浴剤を使用したり、音楽をかけて楽しく入浴できるよう支援している。近くにある温泉にも出かけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣や体調など一人ひとりの状況に合わせて、夜眠る時間や日中の休息時間を設けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情をファイルして、確認できるようにしている。また往診や受診の状況を共有し、記録に残すことで、情報共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご入居者様に合わせ、アクティビティなど提供し、またタバコや飲酒などの支援も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買物・外食・地域行事への参加などご家族にもご協力いただきながら、支援している。	近くにある道の駅まで散歩に行ったり、ベンチでの日光浴、地域行事への参加、花見、紅葉見物など日常生活に潤いと変化を提供するよう工夫している。また、買物、外食など家族との外出も支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	状況に応じて、買い物の際などにも使用して頂けるよう、支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	状態に応じて、電話の使用などできるような支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快感や混乱がないよう、その日の天気などの状態に応じて調整を行い、居心地よい環境づくりの工夫を行っている。	居間、食堂は一体的で、利用者が好きな場所で思い思いに過ごせるようソファなどを各所に配置し、温・湿度、音、光などに配慮した家庭的な雰囲気、利用者の作品、季節の飾りつけをして居心地の良い環境となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間や食卓など好きな場所に座れるよう、複数の居場所づくりを工夫して行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居前には、ご自宅の状況を確認しに職員が訪問したり、入居前に使用していたものをお持ちいただき、また写真を掲示する等、ご本人やご家族にも伺いながら、居心地よく過ごして頂けるような環境づくりを工夫している。	使い慣れた応接いすなどの家具、仏壇を持ち込み、壁には家族の写真、習字などの作品を飾って、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所などに写真を掲示し、分かりやすくしています。状態に応じた工夫を行っています。		